

意見交換

意見等 自治会の活性化が重要であるが行政の取組みは。

応 答 令和３年度に実施した機構改革にて公民連携・協働推進グループを設置し、市民と協働で地域のコミュニティづくりを進めようと職員を配置したものの、コロナの影響で取組みができていない。今後はコロナの感染状況をみながら取り組んでまいりたい。

意見等 近隣市町村に比べて大阪狭山市のふるさと納税額は少ないが、今後どのようにして増やしていくつもりか。

応 答 市ならではの返礼品として、近畿大学病院との連携による PET 検診など、物品のみならずサービスの提供による返礼品の充実にも努めている。市への想いや魅力を感じた方がふるさと納税をしていただけるような仕掛けづくりが必要と考えている。

意見等 狭山ニュータウン地区のにぎわいづくりの一環で、関西みらい銀行狭山支店前にオープンスペースを設ける予定とのことだが、本通り沿いには複数の施設が存在し、それぞれに車両の出入り口が設置されている。車の出入りに加え歩行者や自転車の通行も多く非常に危険な場所である。このような状況も考慮して、オープンスペース化を進めていただきたい。

応 答 以前からご意見をいただいているのは承知している。車、歩行者、自転車との関係性を十分認識しながら整備するよう担当へ指示している。

意見等 狭山池のアンダーパス付近等でスケートボードをしている若者が多く、大変危険である。市の公園の一部を専用のスケートボード場にするなど、公園利用者と若者のお互いの需要を満たす方策が取れないか検討してほしい。

応 答 要望は多く寄せられているものの場所の確保が難しい。スケートボードから発する騒音に配慮する必要があることから、住宅街に設置するのはふさわしくない。立地条件等を踏まえたうえで可能な箇所があれば検討していきたいと考えている。

意見等 市の広報誌や SNS を見ている若い世代から、暮らしに近い情報がないと聞く。行政の情報も暮らしの情報も一緒になった誌面づくりや市ホームページの構成を考えれば、閲覧する人が増えるように思う。

応 答 ニーズの掘り起こしを随時行いながら、行政情報の発信にとどまらず、より身近で親しみやすい誌面づくりに努める。また、民間事業者と連携して、ピアZZというアプリに大阪狭山市のページを作り、身近な情報やご意見、写真を投稿できるようになっている。このようなアプリも利用しながら、有益な情報発信に努めてまいりたい。

意見等 子育て先進都市をめざすまちづくりの取組みと効果は。

応 答 子育て支援として、妊産婦の方へのタクシーチケットの配布などを実施しており、今後は学校給食の無償化等を考えている。子育て支援に力を入れている自治体は多い中で、特色ある取組みを進めることで市の魅力向上につなげてまいりたい。